

COSMETIC COMPOSITION

Publication number: JP6135816

Publication date: 1994-05-17

Inventor: ONO JUNKO; KANEZAKI TOSHINORI; YAMAGUCHI HIDEO

Applicant: EARTH CHEMICAL CO

Classification:

- international: A61K8/30; A61K8/31; A61K8/55; A61K8/58; A61K8/67; A61K8/72; A61K8/89; A61K8/891; A61K8/96; A61K8/97; A61K8/98; C08L83/04; A61K8/30; A61K8/72; A61K8/96; C08L83/00; (IPC1-7): A61K7/00

- european:

Application number: JP19920314243 19921030

Priority number(s): JP19920314243 19921030

Report a data error here

Abstract of JP6135816

PURPOSE: To obtain a stable phospholipid-containing oily cosmetic without precipitating and separating a phospholipid-containing substance. **CONSTITUTION:** This oily cosmetic composition is obtained by blending a mixture prepared by mixing a phospholipid-containing substance such as egg yolk oil with at least one of a silicone polymer, a cyclic silicone and a silicone oil with any one of vegetable oils, animal oils and preferably $\geq 15^\circ\text{C}$ hydrocarbon-based oils. The resultant oily cosmetic composition is capable of uniformly dissolving the phospholipid-containing substance even at a low temperature (5°C) without precipitation and separation thereof and useful as a cosmetic.

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-135816

(43) 公開日 平成6年(1994)5月17日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 7/00	C	7252-4C		
	E	7252-4C		
	H	7252-4C		
	J	7252-4C		
	K	7252-4C		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願平4-314243	(71) 出願人	000100539 アース製薬株式会社 東京都千代田区神田司町2丁目9番地
(22) 出願日	平成4年(1992)10月30日	(72) 発明者	小野 淳子 兵庫県赤穂市松原町1-13
		(72) 発明者	金崎 俊憲 兵庫県赤穂郡上郡町高田台3丁目8番の2
		(72) 発明者	山口 英夫 兵庫県竜野市揖西町小神22-14
		(74) 代理人	弁理士 萩野 平 (外3名)

(54) 【発明の名称】 化粧用組成物

(57) 【要約】

【目的】 リン脂質含有物の沈澱、分離のない安定したリン脂質含有オイル状化粧品を提供する。

【構成】 卵黄油等のリン脂質含有物と、シリコーンポリマー、環状シリコーン、シリコーンオイルの少なくとも1種を混合した混合物に対し、植物油、動物油又は好ましくは炭素数15以上の炭化水素系油のいずれか1種を配合してオイル状化粧品を得る。こうして得られたオイル状化粧品は、低温(5℃)でもリン脂質含有物が沈澱や分離することなく均一に溶解し、化粧品として有用である。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 リン脂質含有物とシリコン類の少なくとも1種を混合した混合物に対し、植物油、動物油、炭化水素系油のいずれか1種を配合したことを特徴とする化粧用油状組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は化粧用油状組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】 リン脂質は、膜成分及び乳化剤として生命現象に深い係わりを持ち、特に卵黄リン脂質はそのリン脂質組成及び脂肪酸組成が人体の血液、表皮のそれに近いことが知られている。卵黄油は、このようなリン脂質を多く含み、乳化作用、抗酸化作用、分散作用、薬効剤の吸収促進作用、エモリエント効果などを有するため、モイスチャークリーム、マッサージ油及び頭髮化粧品に使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 リン脂質を含有する化粧品は多く、その剤形も種々のものがあり、その中の一つにシリコン類にリン脂質含有物を配合したオイル状化粧品を得るためには、シリコン類にリン脂質を溶解させることが必須であるが、リン脂質のシリコン類に対する溶解性が悪く、リン脂質の沈澱や分離が生じて、オイル状化粧品製造上の大きな問題点となっていた。

【0004】 本発明は上記従来の問題点を解決することを目的とし鋭意研究の結果、まず、リン脂質含有物とシリコンポリマー、環状シリコンあるいはシリコンオイルを混合した後、動物油、植物油、炭化水素系油の少なくとも1種を配合することにより、見事に問題のリン脂質が沈澱せず安定なオイル状化粧品が得られることを見出し本発明を完成した。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、リン脂質含有物とシリコン類の少なくとも1種を混合した混合物に対し、植物油、動物油、炭化水素系油のいずれか1種を配合したことを特徴とする化粧用油状組成物に係る。本発明において、リン脂質含有物としては、リン脂質自体の他に、卵黄油並びに卵黄レシチン等を挙げることが出来る。中でも、卵黄油は、通常リン脂質を約30%含み、リン脂質含有物として好ましい。リン脂質中には、フォスファチジルコリンが69.8%、ホスファチジルエタノールアミンが25.2%、リゾホスファチジルコリン1.6%、スフィンゴミエリン3.4%が含まれている。

【0006】 本発明においてリン脂質含有物と混合されるシリコン類として代表的なものを例示すると、シリコンポリマー、環状シリコン及びシリコンオイルを挙げることができる。更に、具体的に代表的なものを

2

例示すると、以下の通りである。即ち、メチルポリシロキサン、メチルフェニルポリシロキサン、環状メチルシロキサン、シリコンポリエーテル・コポリマー、メチルヒドロジエンポリシロキサン、アミノ変性シリコン、ジメチルシロキサン・メチルステアロキシシロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチルセチルオキシシロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチル（ポリオキシエチレン）シロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチル（ポリオキシプロピレン）シロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチル（ポリオキシブチレン）シロキサン共重合体、オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン、テトラデカメチルシクロヘプタシロキサン、ヘキサメチルシクロトリシロキサン、ジメチルシリコンオイル、メチルフェニルシリコンオイルを挙げることが出来る。

【0007】 本発明において、植物油、動物油、炭化水素系油としては、代表的には次のものを挙げることができる。即ち、オリーブ油、つばき油、とうもろこし胚芽油、ひまわり油、スイートアーモンド油、ホホバ油、アボガド油、杏仁油、グレープシード油、サザンカ油、マカデミアナッツ油、ローズヒップ油、月見草油、しそ油、えごま油、小麦胚芽油などの植物油、ミンク油、鯨油、魚油などの動物油、流動パラフィン、スクワラン、スクワレン、シンセラン、プリスタン、液化石油ガスなどの炭化水素系油を挙げることができる。

【0008】 本発明において、上記各成分の配合割合は、全組成物の合計に対して、卵黄油等リン脂質含有物0.1~10重量%、好ましくは0.1~6重量%、シリコン類の少なくとも1種5~70重量%、好ましくはシリコンポリマーでは5~20重量%、環状シリコンでは50~70重量%、植物油、動物油、炭化水素系油のいずれか一種10~50重量%の範囲内で調合される。

【0009】 本発明化粧用組成物には、上記物質以外にも活性成分の希釈剤、分散剤、溶媒として作用する物質を適量加えることが出来る。一例を挙げれば以下のとおりである。皮膚軟化剤として、例えばステアリルアルコール、グリセリルモノリシノレエート、グリセリルモノステアレート、プロパン-1,2-ジオール、ブタン-1,3-ジオール、ミンク油、セチルアルコール、イソプロピルイソステアレート、ステアリン酸、イソブチルパルミテート、イソセチルステアレート、オレイルアルコール、イソプロピルラウレート、ヘキシルラウレート、デシルオレエート、オクタデカン-2-オール、イソセチルアルコール、セチルパルミテート、ジメチルポリシロキサン、ジ-n-ブチルセバケート、イソプロピルミリステート、イソプロピルパルミテート、イソプロピルステアレート、ブチルステアレート、ポリエチレン

3

グリコール、トリエチレングリコール、ラノリン、ヒマシ油、アセチル化ラノリンアルコール、石油、ミネラルオイル、ブチルミリステート、イソステアリン酸、パルミチン酸、イソプロピルリノレート、ラウリルラクトート、ミリスチルラクトート、デシルオレエート、ミリスチル、ミリステート。

【0010】ビタミン類として、例えば酢酸レチノール、ビタミンA油、ビタミンAD油、 β -カロチン、ニコチン酸d l- α -トコフェロール、天然ビタミンE、コレカルシフェロール、アスコルビン酸、パルミチン酸エステル、エルゴカルシフェロール。紫外線吸収剤として、例えば4-tert-ブチル-4'-メトキシベンゾイルメタン、オキシベンゾン、シノキサート、メトキシケイ皮酸オクチル。

【0011】抗炎症剤として、例えばグリチルレチン酸ステアリル。プロペラントとして、例えばトリクロロフルオロメタン、ジクロロジフルオロメタン、ジクロロテトラフルオロエタン、モノクロロジフルオロメタン、トリクロロトリフルオロエタン、プロパン、ブタン、イソブタン、ジメチルエーテル、二酸化炭素、亜酸化窒素、窒素、液化石油ガス。

【0012】軟化剤(humectant)として、例えばグリセリン、ソルビトール、ナトリウム-2-ピロリドン-5-カルボキシレート、可溶性コラーゲン、ジブチルフタレート、ゼラチン。また、本発明化粧用組成物には、前記活性成分の自動酸化を効果的に防止し得る程度の量の自動酸化防止剤、例えばブチル化p-クレゾ

4

ール、ブチル化ハイドロキノンモノメチルエーテル、トコフェノール、ビタミンC類あるいはお茶の抽出物を、生理学的に許容される量含有させることができる。

【0013】本発明化粧用組成物は、消費者が感じよく使用できる組成物にするのに充分な量の香料を含有し得る。一般に香料は0.01~5重量% (組成物重量基準) 配合できる。更に、本発明化粧用組成物はその所望剤形に応じて、既述の物質以外の物質を適宜含有し得る。例えば、防腐剤、変質防止剤、乳化剤、着色剤、洗剤等を適量含有し得る。

【0014】

【作 用】本発明は、上記のごとく処方することにより、シリコン類を用いたオイル状化粧品中でリン脂質が沈殿、分離することなく、安定に溶解するという作用を有する。

【0015】

【実施例】以下に本発明を実施例、試験例に基づき詳細に説明するが、これら実施例に限定するものではない。

【実施例1~13】下記表1に記載した配合割合(単位:重量%)で、卵黄油とシリコン類の少なくとも一種とを混合攪拌した後、この混合物に動物油、植物油、炭化水素系油(以下油類という)のいずれか一種を配合し、更にこれを攪拌することにより本発明化粧用組成物を得た。

【0016】

【表1】

実 施 例														比 較 例		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3
高重合メチル ポリシロキサン	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9			
スクワラン	14	10	14													
流動パラフィン	3.7			10	10	10	10	8	8	6	3.7					
月見草油	3.0															
ミンク油	1.2											10	1.2			
デカメチル シクロペンタ シロキサン	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部	残部
その他	0.3003															
卵黄油	1.8	0.1	0.2	0.1	0.5	5	6	0.1	6	0.05	0.05	0.05	0.1	0.2	1	4
懸濁 (40℃)	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	有	有	有
懸濁 (5℃)	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	有	有	有

【0017】〔実施例14～18〕以下に記載した配合割合（単位：重量％）で、卵黄油、シリコン類及び油類を配合し、更にこれを攪拌することにより本発明化粧用組成物を得た。

○実施例14

ジメチルポリシロキサン	9
デカメチルシクロペンタシロキサン	67
スクワラン	14
月見草油	3

ミンク油
卵黄油
流動パラフィン
計

1
2
4
100

○実施例15

メチルフェニルポリシロキサン	10
オクタメチルシクロテトラシロキサン	22
デカメチルシクロペンタシロキサン	34
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	4

(5)

特開平6-135816

7	8
スクワレン	10 *流動パラフィン
ミンク油	3 計
オリーブ油	3 ○実施例16
卵黄油	3 *
ジメチルポリシロキサン	8
オクタメチルシクロテトラシロキサン	49.99985
デカメチルシクロペンタシロキサン	18
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	2
スクワラン	13
月見草油	4
卵黄油	0.5
ビタミンAパルミテート	0.5
酢酸d l- α -トコフェロール(V.E)	0.2
エルゴカルシフェロール(V.D ₂)	0.00015
4-tert-ブチル-4'-メトキシ-	
ベンゾイルメタン(UV 吸収剤)	4.15
計	100
○実施例17	
ジメチルポリシロキサン	10
オクタメチルシクロテトラシロキサン	37.6997
デカメチルシクロペンタシロキサン	27
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	1
スクワラン	12
月見草油	3
卵黄油	3
流動パラフィン	3
ビタミンAパルミテート	0.1
酢酸d l- α -トコフェロール(V.E)	0.2
エルゴカルシフェロール(V.D ₂)	0.0003
4-tert-ブチル-4'-メトキシ-	
ベンゾイルメタン(UV 吸収剤)	3
計	100
○実施例18	
ジメチルポリシロキサン	9
オクタメチルシクロテトラシロキサン	35.5997
デカメチルシクロペンタシロキサン	26
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	5
スクワラン	12
月見草油	3
ミンク油	1.2
卵黄油	1.8
流動パラフィン	3
ビタミンAパルミテート	0.1
酢酸d l- α -トコフェロール(V.E)	0.2
エルゴカルシフェロール(V.D ₂)	0.0003
4-tert-ブチル-4'-メトキシ-	
ベンゾイルメタン(UV 吸収剤)	3
グリチルレチン酸ステアリル	0.1
計	100

試験例(卵黄油溶解性試験)

50 前記表1に記載の配合割合(単位:重量%)に従い、実

施例と同様の手順で配合、攪拌を行い本発明化粧用組成物を得た。得られた化粧用組成物に関して、40℃の温度に加熱、攪拌した後、並びに5℃まで降温して攪拌した後化粧用組成物の懸濁の有無を視認した。判定結果を、同表中に併記する。

【0018】

【発明の効果】表1から明らかなように、シリコーン類

とともにスクワランや流動パラフィン、月見草油、ミンク油といった油類を配合しないものは、高温（40℃）においても卵黄油が組成物中に溶解せずに懸濁が見られる。これに対し本発明による化粧用組成物では、低温（5℃）でも卵黄油が析出、分離することなくシリコーン類に安定して溶解するため、通常の使用において極めて有用である。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.